

直角二等辺三角形でつくるポーチ



出来上がりサイズ : 約横18cm×縦9cm×厚み1cm
作り方によってサイズは多少異なることがあります。

必要な道具

パターンスタンプ(80-853)直角二等辺三角形30mm

縫い針/待針/はさみ/縫い糸(布と同色のもの、もしくは白または生成)/しつけ糸/シンスル(キルト用指ぬき)/キルターペンシルまたはチャコエース/アイロン など

用意する材料

- 布(ピース用) ----- 1枚(約5×5cm)48枚分
- 布(表用) ----- 約20×8cm
- 布(裏用) ----- 約20×20cm
- 布(内袋用) ----- 約20×20cm
- 布(緑布用) ----- 約20×7cm
- キルト綿 ----- 約20×20cm
- ファスナー ----- 約18cm 1本

※材料は多少余分をみて、多く表記してあります。

ご注意

※道具や材料、できあがった作品を、お子さまが誤って扱い、飲み込んだりケガをすることのないように十分ご注意ください。

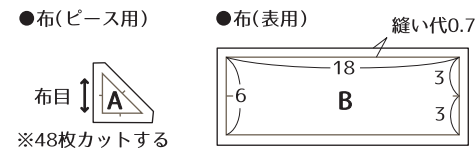
はじめに

- ・まずはじめに説明書全体をよく読みましょう。次に材料がそろっているか確認します。
- ・布にシワがある場合はアイロンをあてて伸ばしておきます。
- ・縫い方によって大きさが若干変わり、キルティングをすると多少縮みます。寸法、実物大図案の位置は目安ですので、参考にしてバランスよく作ってください。
- ・数字の単位はcmで全て約表示です。

①生地のカット

1. 生地の裏側にパターンスタンプを使って印つけをします。型紙を使う場合はキルターペンシルなどで型紙のきわをなぞって布に描き、その後、縫い代(0.7cm)を描き足します。

2. 生地を図のようにカットします。

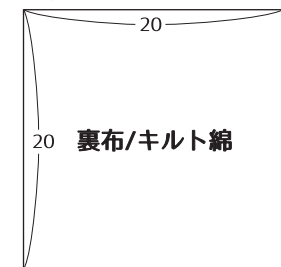


●布(ピース用)

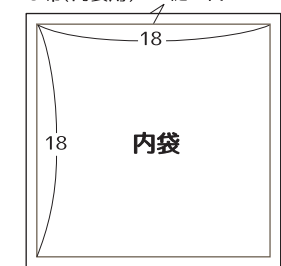
●布(表用)

●布(緑布用)

●布(裏用)/キルト綿

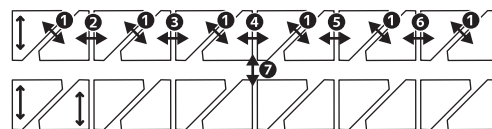


●布(内袋用) 縫い代0.7



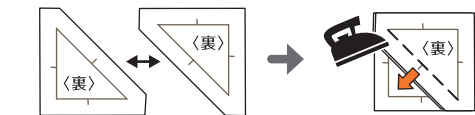
3. すべての生地をカットしたら実物大図案(3枚目)を参照し、Aのピースを表向きにならべてレイアウトを確認します。

※①～⑦の数字は縫い合わせる順番です。

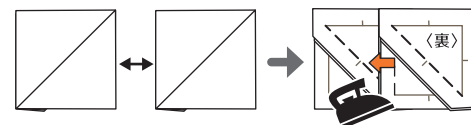


②ピースワーク

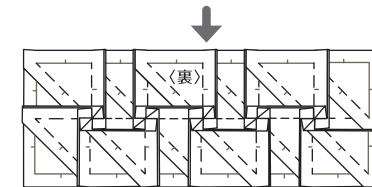
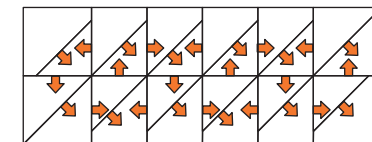
1.Aのピースを中表に合わせて、角と合印に待針をうち、縫い合わせます。ピースを開いて縫い代を(→)の方向にたおし、アイロンをあてます。



2. フロックを中表に合わせて待針をうち、縫い合わせます。フロックどうしを縫い合わせる際は縫い代を起こして縫い込まないようにします。

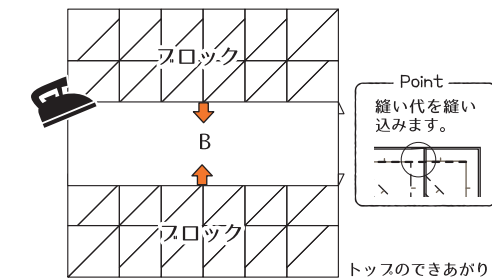


3. レイアウト図を参照し、すべての生地をピースワークします。フロックを開いて縫い代を(←)の方向にたおしアイロンをあてます。



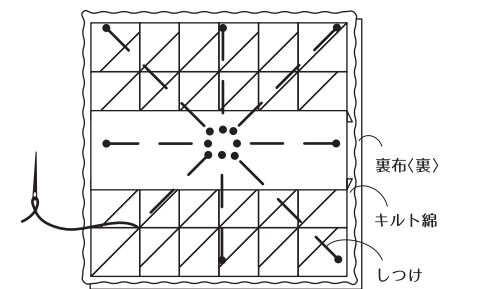
交点の縫い代は風車のように開くと仕上がりがキレイです。 ※同様にもう1枚フロックを縫い合わせます

4. 縫い合わせたフロックとBを縫い合わせます。縫い代は起こさずに縫い込みます。縫い代を(→)の方向にたおし、アイロンをあてます。



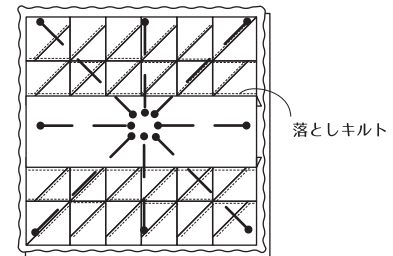
③ベースティング

裏布、キルト綿、トッスの順に重ねてしつけをかけます。



④キルティング

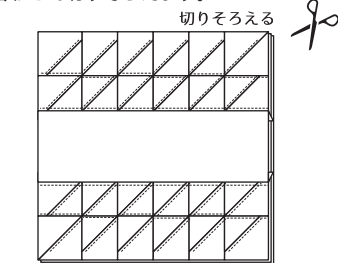
実物大図案を参照してキルティング(落としキルト)をします。



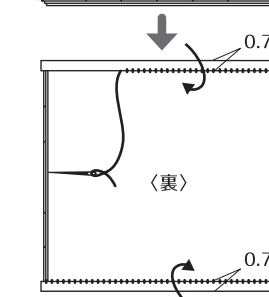
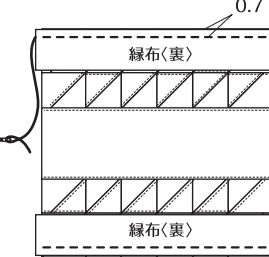
落としキルトとは、ピースどうしの縫い目ギリギリのところにキルティングすることです。実物大図案では分かりやすくするために縫い目から離して記してありますが、実際にはなるべく縫い目に近づけてキルティングします。

⑤パイピングをします

1. キルトのしつけをはずし、裏布とキルト綿をトッスの大きさに合わせて切りそろえます。

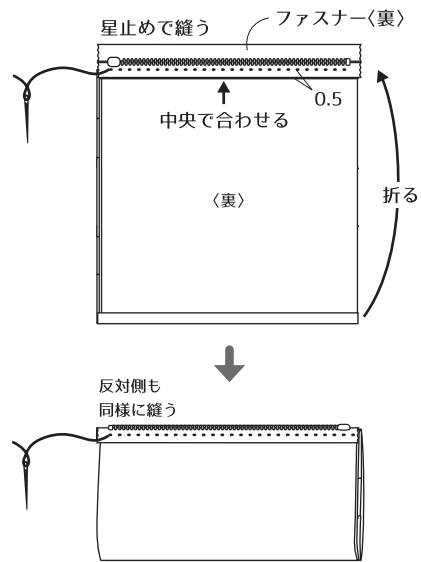


2. 図の上下を緑布で縫いぐるみます。余分な緑布はカットします

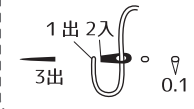


⑥仕立てをします

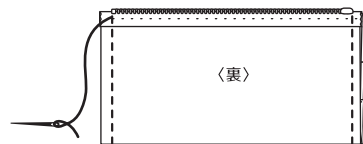
1.キルトを中表に二つ折りにしてキルトとファスナーを合わせてファスナーを星止めで縫い留めます。縫い目が表に出ないように気を付けます。



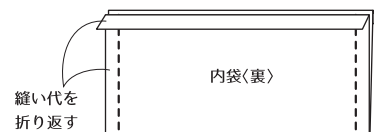
【星止め】



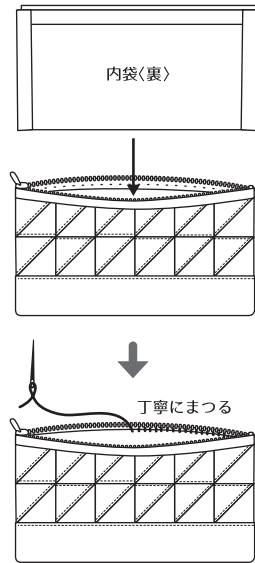
2.両脇を縫い合わせます。縫い代のキルト綿を丁寧にカットします。その後、表に戻しておきます。



3.内袋を作ります。内袋用の生地を中表に二つ折りにし、両脇を縫います。縫い代の部分は裏側に折り返してアイロンをあてます。

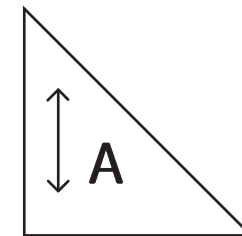
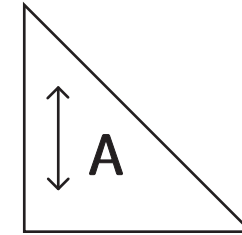


4.キルト本体と合わせて口の部分をまつります。縫い目が表側に出ないように気を付けます。表に戻してできあがりです。



-できあがり-

型紙



実物大図案

- ・ピースのレイアウトの参考にしてください。
- ・(- - -)は落としキルトの位置です。

